

別記様式（第 2 条関係）

会 議 結 果 報 告 書

令和 6 年 1 0 月 8 日

会議の名称	政策推進会議
開催日時	令和 6 年 1 0 月 8 日（火） 1 3 時 2 5 分～1 4 時 2 0 分
開催場所	大会議室 3－3
出席者職氏名	【政策推進会議メンバー】 松永市長公室長、村山総合行政部長、豊島総務部長、松田政策推進課長、尾崎人事課長、川幡財政課長 【担当部課】 松井市民生活部長、増田環境推進課長、白子環境推進課主幹 (計 9 人)
欠席者職氏名	(計 0 人)
説明員職氏名	白子環境推進課主幹 (計 1 人)
議 題	志木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について
結 果	一部内容の修正を行い、1 2 月にパブリックコメントを実施する。
事務局職員職氏名	岩男政策推進課主査、村山政策推進課主事
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

松田政策推進課長が開会を告げる。

2 審議事項

＜志木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について＞

- ・白子環境推進課主幹より概要を説明後、審議を行った。

○概要説明

（１）計画の対象期間

２０２５年４月から２０３１年３月まで（６年間）

（２）計画の考え方

２０３０年度の温室効果ガス排出量を基準年度である２０１３年度と比較して４６％削減すると設定する。

（３）計画の基本方針

現在、市が取り組む事項をまとめた「志木市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」により、市として温室効果ガス削減に務めているところであるが、今回、市民及び事業者に向けた計画を新たに策定することにより、市・市民・事業者が一体となり、目標達成に向けて取り組むものである。

（４）重点事業

- ①エネルギー利用の効率化の促進（省エネルギー）
- ②循環型社会の形成
- ③温暖化対策の周知・啓発

メンバー：志木市ゼロカーボンシティ宣言を踏まえて、実施する事業はあるのか。

担当部課：小、中学生を対象に環境教育を実施していく。子どもに教育することはもちろん、家庭で親へも周知していただくことも期待している。

メンバー：審議会ではどのような意見があったのか。

担当部課：市民、事業者の取組をまとめた計画であるため、わかりやすい表現にするよう意見をいただき、反映させた。

メンバー：目標に向けて、市民、事業者が具体的に何を取り組めばよいかわからないのではないか。

担当部課：計画上で、取組例を記載している。

メンバー：杉の木を例に挙げて二酸化炭素の削減量を考えてもらうのもよいが、例示している取組の削減量と併せて、効果をお金で換算するなどしたらわかりやすいと感じた。

メンバー：市民、事業者の具体的な取組については、ホームページ等でより具体的に明示すべきである。

メンバー：取組におけるチェックシートを作成するのもよい。

メンバー：志木市地球温暖化対策実行計画における事務事業編と区域施策編の位置づけはどのようになっているのか。

担当部課：事務事業編は、市（行政）がカーボンニュートラルを実現するために取り組む事項をまとめた計画であるのに対し、区域施策編は、市民及び事業者がカーボンニュートラルを実現するための具体的な施策や取組等をまとめた計画である。

メンバー：その場合、計画の位置づけを並列の関係だとわかるよう記載を変更した方がよいのではないか。

担当部課：そのように記載を変更する。

メンバー：計画策定後に、具体的な施策を実施していくよう検討する必要がある。

○結論

一部内容の修正を行い、12月にパブリックコメントを実施する。

3 閉会

松田政策推進課長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。